

Creative Native

AOI Pro.

第50期 報告書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

ごあいさつ



代表取締役社長

藤原 次彦

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2013年3月期は、当社の第50期にあたり、期初に策定した中期経営計画に基づき、デジタル部門の強化やアジアを中心とするグローバル展開等に取り組んでまいりました。こうした新たな取り組みをお客様に高くご評価いただいたこともあり、主力であるテレビCM制作関連売上が非常に好調に推移し、2013年3月期のグループ売上高は255億円と過去最高を2期連続で更新することができました。

一方、利益面では、制作原価率が大型作品の受注等により上昇したことに加え、社名変更・創立50周年記念に伴う一時的費用の支出等もあり、前期比減少する結果となりました。

第51期もすでに3か月が過ぎようとしていますが、お客様のニーズに応え、より多くのコンテンツを世の中に発信していくとともに、コストコントロールにも努め、再度、売上・利益ともに過去最高を更新することを目指します。

今、私たちが生きている世界はスピードの社会です。常に最新型のプロフェッショナルとして、溢れる情報の中から必要な情報だけをいかに素早く見つけ出し、ビジネスに活かしていくか。当社グループが次の50年でさらに成長するための答えがそこにあるはずです。

株主の皆様には、今後とも一層の力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

企業ステートメント

ひとりひとりが
それぞれの立場や役割の
Professionalとして
最高のクリエイティビティを発揮させ
さまざまな **Produce** を行う。

そこから生み出された **Product** を
社会やステークホルダーの **Profit** につなげる。

それが私たちの **Promise** です。

AOI Pro.
Promise
(AOI Pro.の約束)

Creative Native **AOI Pro.**

[Pro]は、「前に」「先へ」という意味の接頭語。私たちは、そこにたくさんの思いや決意を込めました。

中期経営計画における重点戦略分野の進展

事業戦略の3つの柱

- 1 主力であるテレビCM、WEBコンテンツ等広告映像制作における業界シェア拡大のための、営業力・技術力強化とクロスメディアに対応できる人材・グループ会社の育成
- 2 これまで培ってきた映像制作に関わるノウハウをフル活用することによるビジネス領域の拡大
- 3 われわれの財産である創造力を異業種とコラボレーションさせることで生まれる新規ビジネスの開発

AOI ASIA PROJECT

中期経営計画で掲げた6つのキーワードのうち「グローバル」に関しては、アジアを中心とする海外戦略「AOI ASIA PROJECT」を加速化させています。具体的には、2011年9月のジャカルタへの現地法人設立をスタートとして、2013年2月には東南アジア諸国の案件をカバーするハブ・プロダクションをバンコクに設立し、同年4月には北京のCM制作会社を子会社化したしました。また、2012年11月、シンガポールにアジアの地域統括会社も設立し、海外の各拠点を線として結ぶ体制を構築しました。国内外および海外間の連携強化の推進により、今後もグループビジネスの領域拡大を図ってまいります。

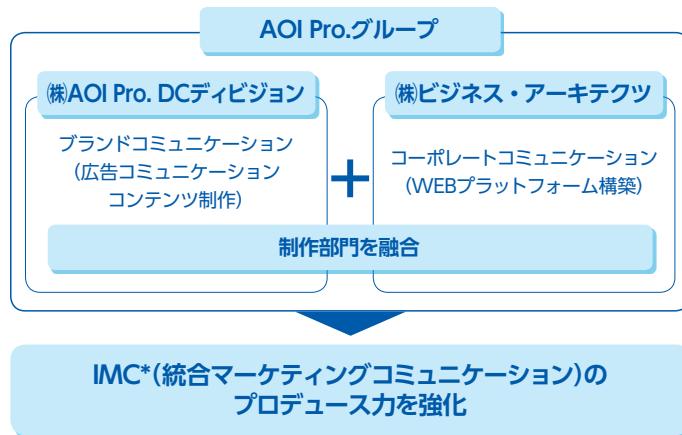


6つのキーワード



デジタル部門の再編

「グループ連携」「テクノロジー」「コミュニケーションデザイン」に関しては、近時におけるクラウド、高速データ通信、スマートデバイスなどのテクノロジーの進化により、多様なメディアを統合させたコミュニケーションデザインに一貫して対応できるプロデュース力がより一層求められていることから、(株)AOI Pro.のDC(デジタルクリエーション)ディビジョンと(株)ビジネス・アーキテクトの制作部門を融合させ、先進的なテクノロジーへの対応力、新しいサービスの開発力の強化、制作体制の効率化を図ることとしました。



※ IMC (Integrated Marketing Communication)
企業のマーケティング活動において、媒体を限定しない統合的なコミュニケーションのこと。

2014年3月期の見通し

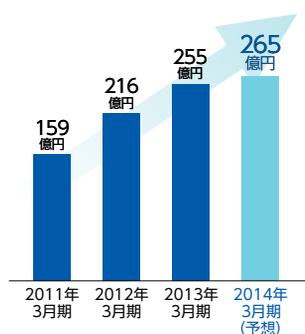
今後のわが国経済は、海外経済の持ち直しと円安を背景とした輸出の増加、企業マインド・消費者マインドの改善等により、緩やかに改善していくと予想されます。

こうした中、今後の広告需要につきましても、テレビを中心に回復基調を維持するものと考えており、主力である広告制作事業の売上高は引き続き堅調に推移し、利益面では、制作管理体制の強化により制作原価率の抑制を図ることに加え、当期に計上した一時的な費用がなくなる等により収益率が改善する見通しです。また、当期は損失を計上した写真スタジオ事業、メディア関連事業の業績も改善する見通しです。以上により、連結業績の見通しにつきましては、下表のとおりです。

2014年3月期の連結業績予想

	連結	前期比
売上高	265億円	3.6%増
営業利益	19億円	37.5%増
経常利益	18億5千万円	33.8%増
当期純利益	7億5千万円	141.5%増

連結売上高



連結営業利益



2014年3月期の配当予想

2014年3月期は、本年10月が設立後50年となることから引き続き記念配当3円を含め、1株当たり年間23円(中間期7円、期末16円)の配当を予定しております。

会社の概況

(平成25年3月31日現在)

商号	株式会社AOI Pro. (英文名AOI Pro. Inc.)	
設立	昭和38年10月25日	
資本金	3,323,900千円	
従業員	320名 (AOI Pro. グループ656名)	
主要な事業所	本社	東京都品川区
	支店	米国カリフォルニア州カラバサス
	オフィス	新橋 (東京都中央区)
		赤坂 (東京都港区)
		西新橋 (東京都港区)
スタジオ	神奈川県横浜市都筑区	
編集スタジオ	東京都渋谷区	

取締役及び監査役

(平成25年6月26日現在)

会社における地位	氏名	担当
代表取締役社長	藤原 次彦	
専務取締役	八重樫 悟	財務・総務・コーポレート本部管掌
常務取締役	笹貫 善雄	第四・第五・第六プロダクションディビジョン管掌
常務取締役	中江 康人	第一・第二・第三プロダクションディビジョン・戦略事業本部管掌
常務取締役	譲原 理	財務本部長 兼 コーポレート本部長
取締役	小甲 則夫	総務本部長
取締役	小形 浩隆	プロダクションコントロールディビジョン本部長 兼 リスクマネジメント室管掌
取締役	潮田 一	第一プロダクションディビジョン本部長
社外取締役	辻野晃一郎	
常勤監査役	斉藤 博	
社外監査役	湯佐 富治	
社外監査役	柴田 芳治	
社外監査役	高田 一毅	

株式の状況

(平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数	38,000,000株	
発行済株式の総数	13,334,640株	
	(自己株式 1,428,415株を含む)	
株主数	2,833名	
大株主の状況		
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社コスモチャンネル	1,373	11.5
株式会社イマジカ・ロボットホールディングス	1,000	8.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	409	3.4
原 仁	400	3.3
松本 洋一	400	3.3
原 文子	328	2.7
AOI Pro.従業員持株会	307	2.5
株式会社オムニバス・ジャパン	220	1.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	200	1.6
明治安田生命保険相互会社	170	1.4

(注) 1. 当社は、自己株式1,428,415株を保有しておりますが、上記大株主からは、除外しております。また、持株比率については、自己株式を控除して算出しております。
2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)と日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、全て信託業務に係る株式数であります。

当社作品介绍

AOI Pro.

ダイハツ工業 新ムーヴ
「スマートアシスト/こんな感じ」

AOI Pro.

アサヒ飲料 大人ワンダザ・ブラック
「大人の迷宮」

AOI Pro.

©Coca-Cola Posted under the approval of Coca-Cola (Japan) Co., Ltd.
日本コカ・コーラ からだ巡茶
「邪魔しないで」

大塚製薬 カロリーメイト

AOI Pro.

TVCM 「新社会人へ」

AOI Pro.

公式サイト <http://www.otsuka.co.jp/cmt/index.php>

AOI Pro.

制作協力作品 BSフジ『まちのたね』(全13回)
4月1日放送スタート 毎週月曜 21時55分～22時
制作・著作: BSフジ、博報堂 提供: 三井不動産

グループ企業

エムズプランニング

イベントや展示会の企画・運営

AOI Pro.

AOI Pro.

『グランフロント大阪』開業記念イベント 3Dプロジェクトマッピングをプロデュース

『グランフロント大阪』の開業記念イベント「A BRIDGE TO THE FUTURE ～未来への架け橋～」において、プロジェクトマッピングの映像制作と投影システム構築に協力しました。エムズプランニングは映像コンセプトの策定、バンクーバーオリンピック開会式のプロジェクトマッピングなどで著名なCOSMO AV(フランス)のキャストイングを担当しました。日本で初めてハイビジョンの8倍の解像度で投影された映像では、「巨大な琴」により「伝統と先進性」が詩的に表現され、絵画のような色の美しさに数千人の観客から歓声が上がると、話題を呼びました。

※プロジェクトマッピング
プロジェクトなどの映写機器によって建物や空間などに映像を投影する表現方法

Pargolf & Company

ゴルフに関わる出版、広告、オンライン事業等

AOI Pro.

AOI Pro.

<http://www.pargolf.co.jp/>

『週刊パーゴルフ』全面刷新 新オンラインサービス「ParOn.」スタート

6月11日発売号より、毎週火曜日発売の『週刊パーゴルフ』の表紙・ロゴデザインを刷新しました。連載内容も大幅に変更し、従来の週刊誌の枠を超えた、ゴルファーの好奇心を満たす内容となりました。

6月1日には、新オンラインサービス「ParOn.」(パーオン)をスタートしました。従来よりもツアー速報を充実させ、10万点を超えるフォトギャラリー、人気女子プロゴルファーのブログなど、ここでしか見られない内容が充実しており、話題となっています。また、楽天株式会社と業務提携し、今後ゴルフ場予約やユーザー交流などのサービスを展開する予定です。

※著作権保護のため作品画像のWEB掲載はしていません

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当の支払いを行うときは9月30日といたします。
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL (http://www.aoi-pro.com/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができないときは、 日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 フリーダイヤル (0120) 232-711
上場証券取引所	東京証券取引所

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。

株式会社 AOI Pro. 本社 〒141-8580 東京都品川区大崎 1-5-1 大崎センタービル TEL.03-3779-8000(代表)

ホームページ [AOI Pro](http://www.aoi-pro.com/) で [検索](#) <http://www.aoi-pro.com/>